

東京薬科大学新聞

発行所 東京薬科大学
責任者 中道博之

新聞会
会
員
募
集!!

新たななる

東薬に向けて

各部門新執行決まる

体育部門長
本橋 正俊

文化部門
木村 匡宏

同好会部門
長谷川 裕

本橋 正俊

木村 匡宏

長谷川 裕

この秋、平成という時代になって初めてこの部門新執行交代がおこなわれた。新執行代は、学術部門・春原 寛、体育部門・本橋 正俊、文化部門・木村 匡宏、同好会部門・長谷川 裕の四人に決まった。それぞれが執行交代コンパを皮切りに、すでに仕事で忙しく飛び回っている中で、早速、顔を見えた人も多いたろう。あまり外的な意味で活発とは言えない東薬のクラブ活動だけに、西暦二〇〇〇年代に向けて、これからの東薬がどう発展していくか、彼らの双肩に全てがかかっていると言っても、過言ではないだろう。

全ての意味で、今、各部門の大きな飛躍に対する我々の期待はいやが上にも高まっている。プレッシャーをかけるつもりはないのだが、本人達の意気込みはどうなのだろうか？ それぞれに、受け継いだ責任についての覚悟を語ってもらった。

新部門長

体育部門
本橋 正俊

学術部門
春原 寛

文化部門
木村 匡宏

同好会部門
長谷川 裕

東薬大校内を歩いている、ふと振り仰ぐと、雪を頂く富士山が目に見え、空の下で平成元年度東薬祭が、去る一月二日より五日までの四日間わたって、盛大に行われつつある。忙しい東薬生ではあるが、「アクティブ・ハート」のテーマの下に学生熱いパワーが炸裂し、感動的な四日間となった。

今年もいよいよ企画感が盛り沢山で、その中でも「カマココン」が印象に残った。男子学生が思い思いに女装し、それぞれ女性になりきっているところ、審査をしているものには思わず目をそむける審査員もいた。後では体育系の学生達かやけに盛り上がったお祭り、その声援にこたえて舞台上のオカマさん達は更にハッスルするのだった。最後に甲乙つけがたい美女たちが勢揃いしたときには、まさじいものは、結構、オカマ大賞(?)で、また、場を盛り

東薬祭を振り返って

東薬大校内を歩いている、ふと振り仰ぐと、雪を頂く富士山が目に見え、空の下で平成元年度東薬祭が、去る一月二日より五日までの四日間わたって、盛大に行われつつある。忙しい東薬生ではあるが、「アクティブ・ハート」のテーマの下に学生熱いパワーが炸裂し、感動的な四日間となった。

今年もいよいよ企画感が盛り沢山で、その中でも「カマココン」が印象に残った。男子学生が思い思いに女装し、それぞれ女性になりきっているところ、審査をしているものには思わず目をそむける審査員もいた。後では体育系の学生達かやけに盛り上がったお祭り、その声援にこたえて舞台上のオカマさん達は更にハッスルするのだった。最後に甲乙つけがたい美女たちが勢揃いしたときには、まさじいものは、結構、オカマ大賞(?)で、また、場を盛り

学術部門長 春原 寛

今まで八つの学術研究部を盛り上げてこれた三年生の方々、一年間本当にどうもありがとうございました。先輩方が行ったこれら仕事は、私達の出の中にとても素晴らしい思い出として残っています。これから新しい人になってほしい。私達も盛り上げていくつもりです。

文化部門長 木村 匡宏

昨年の四月この大学に入ったとき、これからどうなるのだらうかという不安よりも、何かやりたいこと、かきつてできるのではないかと、自分自身の求めているものが見つかった。ところが、自分が大先輩方の描いていたものとはまるで違うものだった。そこからは制限があり、そこからみ出すことは許されなかつた。それをなんとか壊そうとしたら、それがそのままに大きな流れに流されてしまった。

同好会部門長 長谷川 裕

今まで各方面に努力をして下さった旧執行のみならず、一年間どうも苦勞でした。これから私たちが二年生が執行をとるわけですが、各諸先輩方に負けないように、ただ先輩方の真似をするだけでなく、良い所は積極的に直していき、楽しくかつげたいと思います。そのためには執行をとる人間だけでなく、それ以外の二年生、それから二年生の自覚と協力が必要だと思っております。まずクラブ内にとり、最低条件であり、それから各クラブ同志と交流を計り、同好会内だけでなく、体育部門、文化部門、学術部門とも交流を計ればとて、望まれば学校全体の活性化にもつながると思えます。そのためにも、少しでも力になれればと思っておりますので、よろしくお願ひします。

平成元年度後期定例学生会

学内協議会の結果報告

先日行われた学内協議会の成果の報告

施設問題

厚生施設の充実及び新設について

学内暦について

先日行われた平成2年度の学内暦についての説明会・会議の結果報告

規約改正について

現行の学生自治会規約は昭和55年7月に改正以来、過去9年間改正されておらず現状に合わなくなっている。今回の学生会では切実な問題である監査委員の定員とクラブ活動費の問題を検討する。これらも数年間をかけて全体の見直しを図っていく方針である。今後の課題としては、例えば平成3年度からの自治会費改訂問題等がある。

交通問題

1. 学部学生駐車場の快適な利用方法について
2. 平成2年度学部学生駐車場駐車許可証発行者の選定について

監査委員会について

平成2年度監査委員会の委員・役員の承認と活動方針の説明

新歓祭実行委員会について

平成2年度新歓祭実行委員会の役員と承認と活動方針の説明

薬味

一九六一年八月に東ドイツが築いたベルリンの壁一帯の周辺住民の生活を支配し冷戦下の世界を象徴してきた。その壁が一月九日になくなった。十八年間で、五〇〇〇人の東ドイツ国民が壁を越えを試みて失敗し、一九九一年に死んだ。壁が撤廃された最初の二十四時間、数千人の東の市民が西ベルリン入りした。壁がなくなったことは、単に旅行制限がなくなったことだけでなく、軍備縮小やIMF撤廃にみられる世界的な平和への動きを我々に確信させることになった。▼もちろん人々の撤廃には、ポロランドやハンガリーを中心とする東欧社会主義の改革の流れが大きく関係している。東ドイツの経済力は今や東欧では群を抜いていて、西ドイツと比べて低い。イデオロギイの時代は終わりを迎えている。しかし、強国は弱いものがある。しかし、強国は弱いものがある。しかし、強国は弱いものがある。

献血に さらなる協力を めざせ！血漿分画製剤100%自給

めざせ！血漿分画製剤100%自給

「東大と献血」
わが国の献血運動は、昭和三年の東大五周年、飛躍的な発展を遂げた。その中で、東大の学生は他の大学に比べ、比較的に大きく貢献している。このことは昭和六年度の献血者数が八王子市内の大学で、中大、拓大に続いて多く、二〇二人もいたことからも一目瞭然である。

「現在の献血の状況」
男女比をみると、二〇〇m³に對し、四〇〇m³の献血者には、原則的に男性の方が多い。この主な原因として、女性は体重や血圧の制限にひっかかることが多いということ、献血量が多いために拒否を感じるといふことにある。献血ル¹m³などに行くと、本日はA型かあと五人必要です」などの銘記されているが、この数値は何か基準になつてい

るかといふと、病院から輸血に必要な量を依頼され、それを人数に換算したもので、すなわち病院の需要量が基準となつていふことになる。

「献血を行つたための条件」
献血は誰でもできるという誤解ではなく、年齢制限、体重制限、血色素比重制限、血圧制限の条件を全て満たしていなければ、献血は不可能である。また、献血間隔が一定間隔以内であつたり、年間献血回数が増え、中はこの制限を無視して、何回も献血する人がいる。その人の健康を保つためにも絶対避けるべきである。

「献血の種類」
皆さんは献血の方法には、二〇〇m³献血、四〇〇m³献血、成分献血の三種があることを存じでしょうか。

わが国の血液事業は、輸血用血液は二〇〇m³及び四〇〇m³献血から賄ひ、全て国内の献血事業で確保された原料が、血液中の血漿分画製剤としてつくられる。海外からの輸入に依存している。しかし、この状態では輸血によってエイズウイルスが入りこむ危険が生が伴う。打開策として、血漿を国民から確保しなければなりません。そのようなわけで、最近注目を浴びているのが成分献血である。これは、従来の献血方法とは異なり、全血をいったん採血し、その中から必要な血漿や血漿板のみを取り出して残りの成分を返す方法をとつていふ。

「成分献血体験記」
皆さんは成分献血を体験した事のある人は極めて少ないのではないのでしょうか。時間もややかり、導入され

実験動物 慰霊祭

十一月二十二日(水)に一講義室において実験動物慰霊祭が盛大に行われた。当日講義室には、大きな祭壇にイヌ、ウサギ、ネズミ、ネコの写真が祭られ、寺の住職の中村さんが呼びかけて始まつた。式は大学院生を中心に教室いっばいに人が集まり、そして、要津総務部長の「普段、実験等で動物を殺してしまつてゐる。動物にしてみれば大なる罪を犯してゐる。東大生は一種の罪を犯してゐる。心を通らして動物の靈をなぐさめよう。」といふお言葉から始まつた。

続いて中村さんから焼香についての話があつた。

そのやり方は、

- ①合掌
- ②感謝の気持ちとなぐさめの気持ち
- ③「これを一回焼く焼香を」
- ④「これを一回焼く焼香を」

である。焼香を焚くときは、必ず気持ちをこめてやるように、とのことであつた。

盛況に終わった講演会

去る十一月十八日、丹波哲郎氏の特別講演が行われた。この後援会は東大第四十一回定例会終了後、東大学生会により開催されたもので、立見客約一五〇人の盛況を呈した。丹波氏もまた、この講演にたいして、白みのない定例会に何かプラスがほしい、さらには東大生との交流の機会を計りたいといふ目的で行かれた。

丹波哲郎氏は映画「大空界」で知られている方で、もちろん今回の講演会でも、私たちが期待を裏切ることなく世界や死後の話、断片断片などについて話された。丹波哲郎氏は、この東大を築きあげた丹波敬三先生のお孫さんであることは誰が関係しているところなので(死後には)聞えないといふところへお話を進め、「一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、百」といふように、丹波哲郎氏もまた、この講演会にたいして、白みのない定例会に何かプラスがほしい、さらには東大生との交流の機会を計りたいといふ目的で行かれた。

来年度行事 予定に大変更!?

去る十一月八日及び二十一日の二回にわたって学内協議会が行われた。場所は図書館棟四階第一会議室、議題は、来年度より行われる学内行事についてである。学校が発表した予定を見て、夏期休業前の行事が変更されることである。予定表によると七月十一日に前期授業を終え三日の空を設けたのち八月一日から九月十六日までなる事と、後期テストが一月二十四日から始まり二月二日から休みに入るという事である。改正の理由は昭和五十八年頃から変更しようといふ案があつたのだが、来年我が大学及び中央大学を会場に参加者

「新人生と共に 新たな気持ちで」

私が平成二年度新歓実行委員長の太田道明です。新歓全体の成功を考えて様々な行事を行つていきたいと思ひます。

今年度の新歓実行委員会のスローガンは、「新人生と共に新たな気持ちで」と致しました。

皆さんが入学する前(新歓行事に参加する前)、どんな気持ちで毎日を送つておりましたでしょうか。多くの人は期待と同時に不安を抱えていたことと思ひます。これから入ってくる新人生も同じ気持ちで東大に入学してきます。不安を抱えていては何か思つたこととあつてもなかなか口に出せずに学生生活を送つていくことになるのです。ですから、その不安を取り除いてあげることがとても大切なことなのです。

不安を取り除ければ新人生は自分の思ったことを言えるようになります。上級生にそれと素直にぶつけてくれるでしょう。その時は「さあ、さあ」といふように、一方的に決めつけた言い方をするのではなく、一緒に考えながら答えを出して欲しいのです。そうすることによって、新人生は納得すると同時に上級生も改めて自分たちのことを見つめ直す事ができるのではないのでしょうか。

新歓祭を通じて上級生、下級生が共にこれからの学生生活を新たな気持ちで送れることを切に願つていふ。

「新人生と共に」
九千名にのぼる日本薬学会が行われるためこれを契機に来年から行うといふもの。

この日程になるに授業期間と休業期間にメリハリがつきまじり、「よく学びよく遊べ」といふ考えに沿つたものとなる。学校側は、夏期休業中に習つたことを忘れてしまつたという事が無くなり、警告書も減るだろうと言つたが、これについては実際ほとんど変わらないであらう。学生側から見た意見は「クラブの活動に支障がなくなる」と「暑い八王子の夏に前期テストの勉強をしなければならぬ」、「夏期休業を利用して試験勉強ができない」、「授業期間が短くなる事により実習にしろやせがきつたのでわかないか」等が挙がつたが結局、学校側の出した予定は優先性の高いものから順に各クラス、学年、教室、他大学、企業等との関連など多くの条件を考えた上で、その中で最大の都合も考慮されておられる。学生には都合が悪いかもしれないが一つの予定を変更することによりその波及効果で他の予定まで前にはいらず各々対応してもらいたいとのことである。学生側も納得し、なごやかな閉会を迎えた。

▼理論的かつ内面的で真面目な私は、やはりA型だつた。(リース)

☆ Cry for the moon, and bark to the moon. (ヤマト)

★今世界が大きく動きつた。だが完璧はあり得ないはず。つぎの困難は何? (新)

※ やつた。ついにバイクを買つたぞ。みなさん、道を歩くとときはじゅうぶん注意しよう。(まはた)

▲ 献血に行つたところ、すっかりりたあまりキヤメルを四カストン買つてしまつた。あ、健康に悪い! (さあし)

◎ 中島みゆきのコンサートに行つた。定員七〇〇人の小さなホールだったのでみゆきさんがそこにいるようで、なかなか迫力のあるいいコンサートだった。(ていてい)

編後記
編集後記